

MIHOKO QUARTET Profile



MIHOKO ピアノ

北海道室蘭市出身。大谷短期大学音楽科卒業、専攻科修了。
・2000 年渡米。
・2005 年ボストン、パークリー音楽大学ジャズパフォーマンス科を magna cum laude で卒業。
Joanne Brackeen 氏と Harvey Diamond 氏に師事。アメリカ各地で演奏活動を行う。
・2010 年ピアノトリオにて 1st アルバム「We'll See」をリリース。アメリカ全土の FM 各局でオンエアされる。
・2011 年同バンドで室蘭ジャズクルーズ出演。2007～2013 年北海道グルーウキャンブではアシスタント兼通訳をスタート時より7 年間務める。ラテンアメリカのミュージシャンとも交流を深め、サルサ、ラテンジャズの演奏でアメリカ東海岸地域のフェスティバルに多数出演。札幌に拠点を移してからリーダーをつとめるラテンジャズバンド Feliz De La Vida”結成。
・2019 年にアルバム「Maria Cervantes」をリリース。札幌市内各ライブハウス、ルスツ 100daysliveへの毎出演、大沼国際セ ミナーハウス、幕別百年記念ホール砂川ゆうホー ルでの公演を行う。
・2023 年 9 月、日本ハムファイターズの本拠地エスコンフィールドにて試合直前演奏を行う。
雑誌「ジャズ批評#234」(2023 年7月発刊)では連載記事 ”北都市の猫たち Vol.89”にて自身が紹介される。
現在はニューヨーク等を行き来しながら活動の幅を広げている。

Website:www.mihokojazz.com



Arisa Morikawa アルトサックス

5歳でピアノ、10歳から吹奏楽でサックスを始める。昭和音楽大学短期大学管弦打楽器コース卒業。クラシックサクソフォンを故新井靖志、故伊林俊英の各氏に師事。
卒業後よりジャズを学び、現在は札幌市内のライブハウスを中心にライブやレコーディングなどの演奏活動を行う。2021年発売、島村楽器サックス教則本にて模範演奏を担当。



Nick Tardif ベース

ニック・ターディフは、アメリカ・コネチカット州出身のベーシスト／作曲家
2009年にニューヨークへ拠点を移し、Nublu, The Living Room, The Mercury Loungeなど数多くのクラブで演奏を行いました。シンガーソングライター、ファンク、R&B、エクスペリメンタル、ジャズなど、幅広いジャンルの音楽を演奏してきました。
2020年には札幌に移住し、再びジャズへの情熱を取り戻すとともに、北海道および東京を中心にプロとしての演奏活動を開始しました。
日本での活動中には、デヴィッド・マッシュューズ、小山翔大、竹村一哲、ピョリン・アルコーなど、さまざまなアーティストと共演し、また、自身のオリジナル曲と独自のスタイルをフィーチャーしたリーダーバンドも率いています。



石橋正彦/Masahiko Ishibashi ジャズドラマー

1947年生まれ、岡山県出身。小学1年で東京に転居。
1961年ジャズドラマーのレジェンド、アートブレーキーとジャズメッセンジャーズの初来日でドラムに興味を持ち、高校のブラスバンド部でドラムを始め、東洋大学の軽音楽部でジャズコンボ、3年生の時ビッグバンドGroovy Sound Jazz Orchestraを結成、卒業と同時にプロミュージシャンとなり、都内のジャズクラブ、ライブハウス等で演奏。
1977年、札幌に転居。パークホテル内「パーククラブ」で、札幌のピアニストの重鎮、故江河徹朗トリオ、その後ジャズクラブ「After Glow」で故山田敏昭トリオで演奏。その間、数々のNYのレジェンドジャズミュージシャンの演奏を目の当たりにし、また一緒に演奏する事で本物のジャズを体感出来た事は素晴らしい経験になっています。
現在はジャズクラブ「Half Note」で豊口健トリオ、他ライブハウスで活躍中。